

## はじめに

館長 岩井秀昭

平成 20 年 6 月の国会決議により、2010 年を「国民読書年」とすることが定められました。近年は、学校での「朝の 10 分間読書運動」が浸透したり、学校だけでなく家庭、地域全体で読書を推進する「読書のまちづくり」が広がったりするなど、読書に対する国民意識が再び高まりを見せています。今後、図書館をはじめ、さまざまな場所で、国民読書年にちなんだ行事や取り組みが推進されていくことでしょう。

本学院図書館におきましても、小学校では「図書の日」を設け、高等学校では「高等学校図書館フェスタ in Osaka」の計画や、また短期大学においても分館である鶴見キャンパスにおいて、新設された看護学科の学生へのサポート体制を充実させるなど積極的な読書・図書館利用の推進に取り組んでいます。

皆様の忌憚のないご意見・ご感想などをいただき、今後も更なる蔵書の充実、利用の拡大そしてより良い運営を目指してまいりたいと思っています。

## 大阪信愛女学院図書館活動方針

### 1. 基本方針

図書館では、学生・生徒・児童が建学の精神にもとづき、女性としての豊かな心を養うと共に、物事を正しく判断して行動し、進んで社会に奉仕できる明朗で健康な人となるように、図書館の機能を通して支援する。

情操面ではもちろんのこと、生涯学習社会、情報化社会に生きる者として、柔軟に対応できるよう、情報の持つ意味、情報の取捨選択、その利用や表現といった情報活用面についても、日常の図書館利用を通して習得することを支援する。

これらの実現のために、次のような活動を推進する。

様々な興味・関心、また多様な価値観を持つ学生・生徒・児童たちに、自由で楽しい読書の場を保障し、必要に応じた情報の提供を徹底して行う。

学生・生徒・児童の学習や自主的な活動、教職員の教育活動に対して、積極的に支援する。

一層充実した情報提供ができるよう、必要な資料の収集に努める。

これらのことを円滑に行うため、図書館員は常に研鑽に努める。

### 2. 方針の具体化

#### だれもが利用しやすい図書館づくり

- ・「図書館に行ってみよう」と思われる努力と工夫をする。
- ・初めての人でも気軽に入りやすい雰囲気づくりをする。
- ・日常的に図書館を利用してもらえよう努力する。
- ・館内表示を誰が見ても分かりやすいように工夫する。
- ・障害を持っている人も利用しやすい図書館にする。
- ・図書館に対し良い印象を持ってもらえるように、特にカウンターでの対応に注意する。
- ・広く利用者の要望を図書館運営に反映させるよう努める。

#### 資料提供を徹底的に行う

- ・利用者が図書館員に気軽に質問できる環境を整える。
- ・利用者の疑問について答える。
- ・利用者が求める資料や情報を迅速・的確に提供する。
- ・図書館員は利用者の様々な疑問に速やかに対応できるよう研鑽に努める。

#### リクエスト制度を理解してもらう

- ・図書館にない本は、買ってもらえることを周知徹底する。
- ・購入が困難なものは、他館から借りられることを周知徹底する。
- ・掲示などを通して広く利用者に知らせる。

#### 新鮮で魅力的な資料の充実を心がける

- ・学生・生徒・児童が関心のある資料を積極的に購入する。
- ・授業で利用が見込まれる資料を積極的に購入する。
- ・図書館の収集方針に従い、適正な資料の充実を心がける。

#### 授業との連携を積極的に行う

- ・教師に図書館の働きを理解してもらえよう努力する。
- ・教師に図書館を使った実践例の紹介をする。
- ・宿題等の課題は事前に把握するよう努め、速やかに資料を提供できるようにする。
- ・資料の利用方法や情報検索等の指導を通して、情報活用能力の育成に努める。

#### 図書館を知ってもらうために広報活動を行う

- ・図書館活動について、学院関係者に周知徹底する。
- ・ホームページを利用し最新の情報を提供する。
- ・図書館報、新着案内や展示・掲示を積極的に展開する。

### 3．2010年度の活動重点項目

#### 図書館利用の活性化を行う

- ・学生・生徒・児童・教職員、特に看護学科に対し学習・研究活動への支援に努める。
- ・新着図書案内・特別展示などで図書館資料の紹介をする。
- ・利用者が参加できる図書館活動を行う。

#### 募集広報に協力する

- ・オープンキャンパス、入試説明会などで見学者に図書館を紹介する。

### 4．資料収集方針（2000年2月23日策定）

#### <趣旨>

大阪信愛女学院図書館（以下「図書館」という）は、資料提供を通して、児童・生徒及び学生が学ぶ喜びや読む楽しさを体験できるよう援助するとともに、教職員の教育・研究活動を支援するという役割を持っている。その役割を果たしうる図書館であるために、常に利用者（児童、生徒、学生、教職員等）の声に耳を傾け、魅力ある図書館資料（以下「資料」という）の収集に心掛け、以下のような方針で資料を収集する。

#### <資料の範囲及び種類>

- 1．授業の補助になるもの  
（授業や課題、学校行事、クラブ活動などで必要なもの。また、利用が見込まれるもの。）
- 2．調査研究に必要なもの  
（利用者の調査・研究及び教育活動に必要なもの。また、利用が見込まれるもの。）
- 3．教養を高めるもの  
（人格の形成及び向上に必要な、一般教養及び時事問題を扱っているもの。広い視野と多様な考えに目を開かせるもの。）
- 4．利用者が必要とするもの  
（利用者の知的好奇心を刺激するもの。利用者の要求が予想されるもの。利用者のリクエストにはできる限り応じる。）

冊子体の資料の他に、デジタル資料、オーディオヴィジュアル資料なども適宜必要に応じて収集する。

## ・運営

### 1. 職員

- ・ 図書館長 岩井秀昭
- ・ 副館長 永野ゆみ子（8月31日まで）
- ・ 課長 谷嶋正彦
- ・ 係長 濱岡賢二
- ・ 司書 河野香織、金森陽子、守屋美玲
- ・ 嘱託職員 川島眞治

### 2. 各校図書館教育委員

- |        | 図書館教育委員             | 図書館担当職員 |
|--------|---------------------|---------|
| ・ 短期大学 | 藤本久夫、西節子、鈴木万里子、市川隆司 | 濱岡賢二    |
| ・ 高等部  | 高橋絵吏、江草佳子           | 谷嶋正彦    |
| ・ 中等部  | 山置裕子、藤井政也           | 河野香織    |
| ・ 小学校  | 荒井祐子、福田遥            | 金森陽子    |
| ・ 幼稚園  | 下中瑠依、山本悠湖、岸万莉子      | 守屋美玲    |

### 3. 管理運営

- ・ 図書館の管理・運営総括 岩井秀昭
- ・ 図書館業務総括 永野ゆみ子（8月31日まで）、谷嶋正彦
- ・ 図書発注・受入・支払 谷嶋正彦、金森陽子
- ・ 図書の分類・目録 守屋美玲、永野ゆみ子（8月31日まで）
- ・ 図書の装備 川島眞治、守屋美玲、永野ゆみ子（8月31日まで）
- ・ 雑誌受入 濱岡賢二、河野香織
- ・ 予約・督促 濱岡賢二、河野香織
- ・ 図書館間相互貸借 濱岡賢二

### 4. 図書館外業務

- ・ 図書館防災管理責任者 岩井秀昭
- ・ 図書館教育委員会 谷嶋正彦
- ・ 災害対策委員会 守屋美玲
- ・ メディア教育推進委員会 金森陽子
- ・ ホームページ委員会 濱岡賢二

### 5. 図書館教育委員会

2004年度に図書館教育委員会が発足した。委員は各校より選出され、図書館教育の推進という役割を担っている。2009年度は6月4日に会議を行い、図書館活動方針の説明や活動の報告等を行った。先生方との連携のもと、相互理解を深め、学校図書館としての機能を果たしていきたい。

- 1) 2008年度活動報告について報告・説明
- 2) 2009年度活動方針について報告・説明
- 3) 図書館利用についてのお願い

#### 4) 図書館に対する意見・要望について

### 6. 図書館カレンダー

#### 4月

- ・大阪信愛女学院図書館ニュース No.8 発行 (2日)
- ・短大新生オリエンテーション実施 (3日)
- ・中等部・高等部の保護者に学院図書館の利用案内を配布 (7日)
- ・高等部新生オリエンテーション実施 (9日)
- ・中等部新生オリエンテーション実施 (9-10日)
- ・幼稚園の保護者に学院図書館の利用案内を配布 (10日)
- ・幼・小・中・高に平成21年度図書予算を通知 (13日)
- ・短大に平成21年度図書予算を通知 (14日)
- ・図書館1階の絵画を短大・飯田先生作の絵画3点に掛け替える (15日)
- ・鶴見キャンパスメディアコーナーに看護関連の到着図書運搬・整理作業 (15日)
- ・小学校オリエンテーション実施 (17・21-23・27・30日)
- ・第21回古雑誌・古本展示会 (21-5/9日)

#### 5月

- ・小学校オリエンテーション実施 (1・13-15・26-28日)
- ・新型インフルエンザ感染拡大防止のため全学院臨時休校により図書館も臨時閉館 (18-24日)
- ・中学生の北海道修学旅行関係の資料を図書館4階研究室41の前に別置 (26日)
- ・各校へ第1回図書館教育委員会開催の案内 (27日)
- ・館外蔵書点検 (27-28日)

#### 6月

- ・鶴見キャンパスメディアコーナーに看護関連の寄贈図書運搬・整理作業 (2日)
- ・中学校の総合学習において、中2「職業・資格」についてのパスファインダーを配布 (3日)
- ・高校の総合学習において、高2「沖縄・八重山諸島(修学旅行)」「フランス・パリ(修学旅行)」についてのパスファインダーを配布 (3日)
- ・第1回図書館教育委員会 (4日)
- ・平成20年度図書館活動報告書+活動方針を各校部署主に配布 (4日)
- ・初等教育学科の学生の工作作品を館内に展示 (20・26・29日)
- ・小学校入試説明会参加者図書館見学 (27日)
- ・館内蔵書点検 (29-7/17日)

#### 7月

- ・平成21年度除籍リスト提出 (1日)
- ・各校に図書予算残高を通知 (3日)
- ・館外蔵書点検 (7・13-14日)
- ・中等部・高等部オープンキャンパス参加者図書館見学 (19日)

#### 8月

- ・館内蔵書点検 (3-21日)
- ・中等部・高等部オープンキャンパス参加者図書館見学 (23日)

#### 9月

- ・永野館員本日より学院事務に異動 (1日)
- ・館外蔵書点検 (1-30日)

- ・小学校入試説明会参加者図書館見学（5日）

10月

- ・各校に予算残高と図書購入申請受付期限を通知（5日）
- ・保育士養成科訓練生オリエンテーション実施（5日）
- ・高校美術部の版画を図書館4階ブラウジングコーナーに展示（20日）
- ・図書館日誌の書式変更（21日）
- ・図書館中央階段踊り場に入館者用の手のアルコールを設置（21日）
- ・図書館中央階段に滑り止めを貼付（23日）
- ・中等部・高等部保護者対象入試説明会参加者図書館見学（24日）

11月

- ・小学生（4年）コンピュータ検索の使い方のオリエンテーション（11・18日）
- ・中等部・高等部保護者対象入試説明会参加者図書館見学（14日）
- ・中等部プレテスト参加者図書館見学（22日）
- ・平成21年度除籍リスト提出（30日）

12月

- ・中等部・高等部個別相談会参加者図書館見学（6・13日）
- ・看護学科学生に文献探索指導（10・17日）
- ・中・高校生に図書館利用調査アンケート実施（11日）

1月

- ・短大生に図書館利用調査アンケート実施（14日）
- ・平成22年度予算申請書提出（25日）

2月

- ・美術関連の寄贈図書運搬・整理作業（20日）

3月

- ・月～金曜日17:00まで開館時間を変更（1-19日）
- ・平成21年度除籍リスト提出（8日）
- ・平成21年度図書館資料決算報告提出（19日）

## 7. 出張、研修

5月

- ・私立短期大学図書館協議会近畿地区協議会2009年度総会・第1回研修会（15日 大阪国際大学 守口キャンパス - 濱岡）

7月

- ・平成21年度 私立短期大学図書館情報担当者研修会（2-3日 京都ガーデンパレス - 濱岡）

8月

- ・学校図書館問題研究会 第25回 全国大会（3-5日 北海道 - 金森）
- ・日本図書館協会学校図書館部会 第38回 夏季:研究集会 東京大会（7-8日 法政大学 - 谷嶋）
- ・日本看護図書館協会 2009年度 第39回研究会（20-21日 愛知県立総合看護専門学校 - 濱岡）

10月

- ・大阪府高等学校図書館研究会 第3回 司書部第3地区会（22日 兵庫県立尼崎北高等学校 - 金森）

## 8．土曜開館

原則として中・高の授業に対応し、第2土曜日を除き開館している。2009年度は31回土曜日開館を行った。開館時間は午前8時10分から午後3時まで(夏季特別開館時は午前9時から午後4時まで)とし、放課後にビデオやDVDを鑑賞できる時間を設定したが、閉館時までの利用はほとんど無く、有効な利用がなされていないのが現状である。今後のさらなる広報が必要と思われる。

## 9．広報活動

- ・主に学生・生徒を対象とした新着図書案内『あたらしい本』を不定期ではあるが13回発行した。また、図書館前の掲示板や図書館内には、新着図書案内や各種ポスターを掲示し、随時入れ替えを行っている。
- ・『図書館員が薦めるこの1冊』を毎週1週間、『テーマ展示』を2テーマを毎週交互に2週間展示し、利用を促している。
- ・インターネット上の図書館サイトには、お知らせや開館カレンダーなどを随時アップロードしている。
- ・4月の学院総合連絡会において、教職員に図書館活動について理解していただくために図書館ニュースを配布した。
- ・幼稚園では『としょかんつうしん』、小学校では『図書館だより(小学校版)』、中・高等部では『らい ぶらり(中・高版)』『図書館ニュース(先生方へ)』を発行した。

## 10．学外者利用

2003年度より学外者利用規定を施行し、これまでの保護者・卒業生に加えて学外者にも図書館開放を行っている。2009年度は、利用登録が5名あり、資料閲覧のための来館が5件あった。

## ．全体統計資料

### 1．蔵書冊数(2009年3月31日現在)

短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
99,446	47,750	12,965	15,511	5,158	180,830

\* 蔵書数には図書・ビデオ・DVD・LD・CD・カセットを含む。

### 2．年間受入資料数

		短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
購入	冊数	2,433	1,463	420	669	218	5,203
	金額	7,199,672	1,999,783	649,906	849,809	249,840	10,949,010
寄贈	冊数	511	124	26	33	17	711
	金額	1,354,019	109,098	35,794	32,254	17,956	1,549,121
合計	冊数	2,944	1,587	446	702	235	5,914
	金額	8,553,691	2,108,881	685,700	882,063	267,796	12,498,131

\* 詳細は各校の年間受入資料数を参照のこと。

### 3．除籍冊数

短期大学	高等部	中等部	小学校	幼稚園	合計
2,346	1,865	425	744	228	5,608

2009年度も古本・不明本・破損本の除籍を行った。中・高・短大の古本は分野を問わず、地下電動書架の未登録本を整理し、幼稚園は図書室の一般書の古本を中心に除籍を行った。除籍した図書は古書展示として利用者に提供している。

### 4．購読雑誌・新聞数

	日本語	外国語	合計
雑誌	234種	4種	238種
新聞	11種	1種	12種

### 5．開館日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(日)
19	21	27	25	6	22	25	22	18	19	22	16	242

### 6．文献複写依頼件数

	件数	依頼者数
発注	97	8
受注	12	

7. 図書館の館外貸借冊数

	国公立大学	私立大学	中・高校	その他	合計
貸出	4	6	77	7	94
借用	0	1	0	26	27

その他とは、公共図書館・各種研究所のことを言う。

8. 貸出統計(5年間の推移)

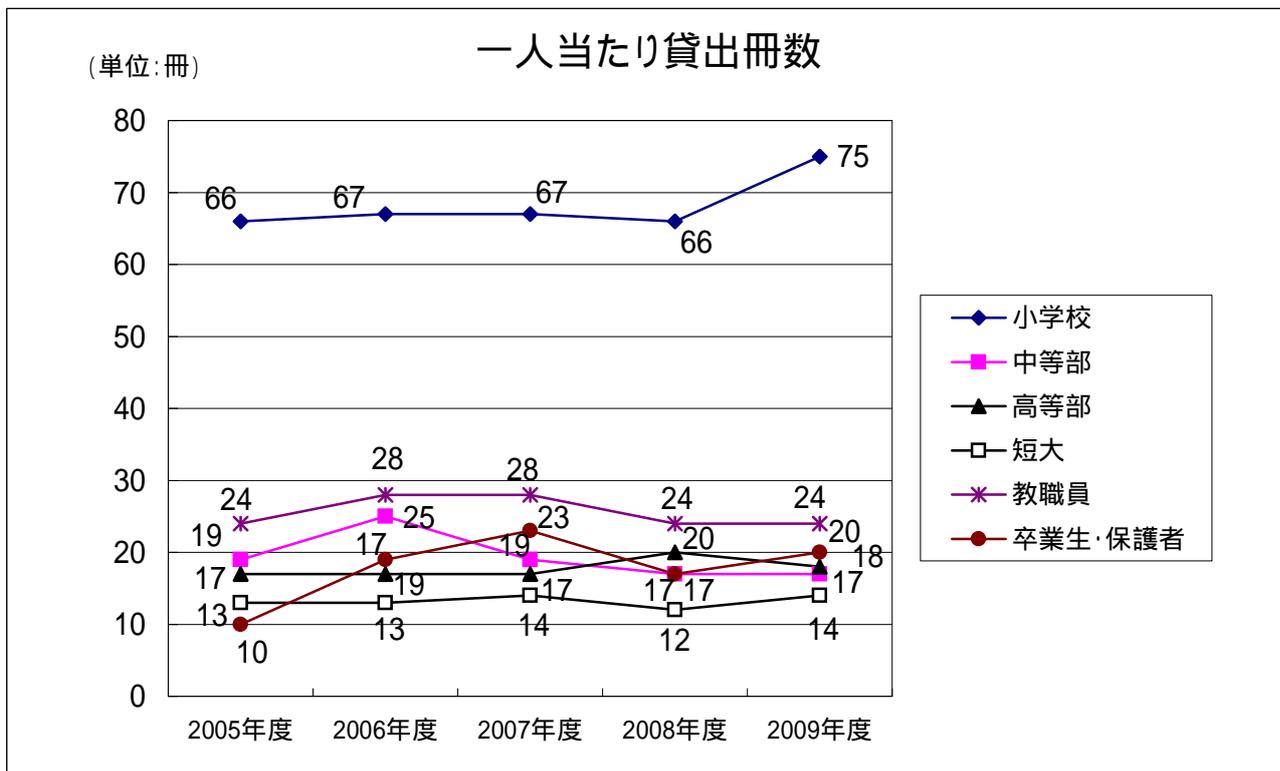
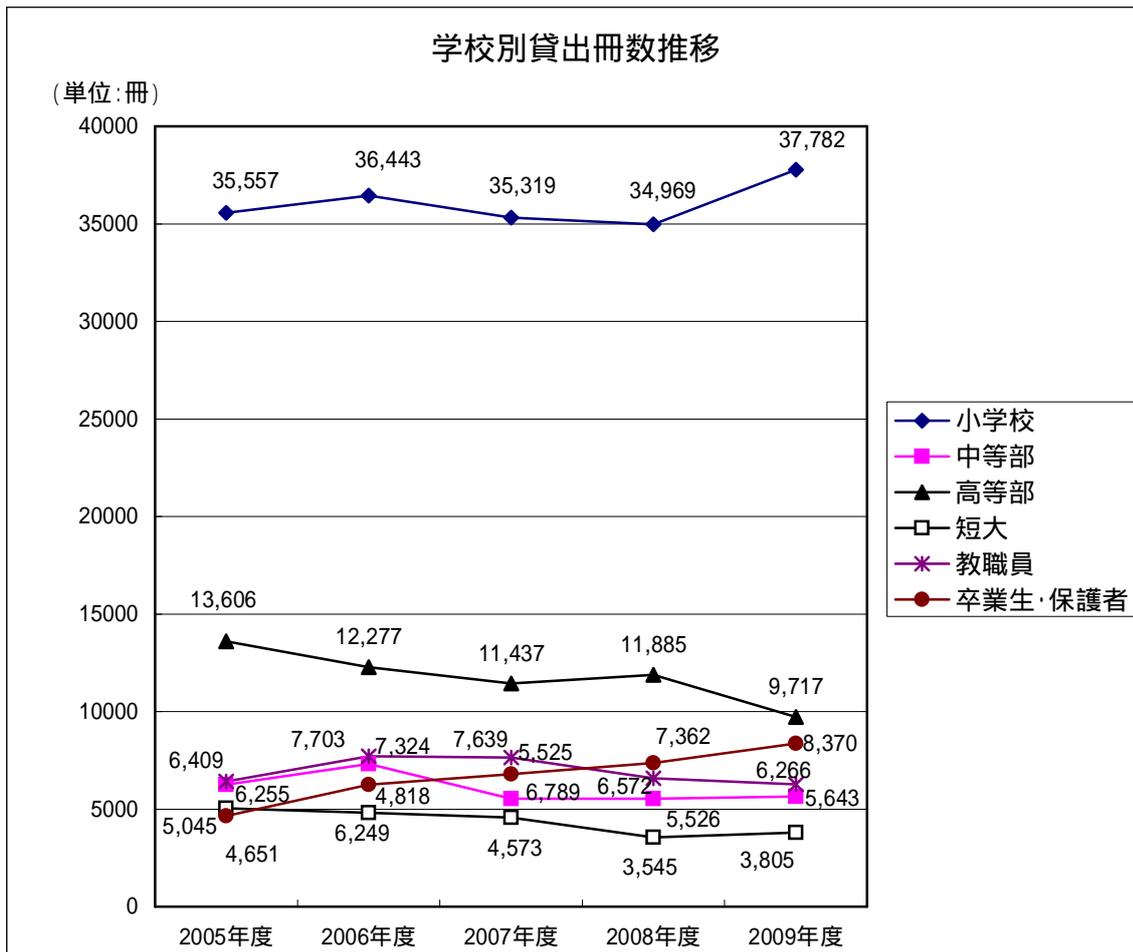
貸出冊数及び1人当たりの貸出数

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
対象人数(人)	小学校	542	544	530	527	503
	中等部	328	294	289	316	323
	高等部	801	724	658	587	551
	短大	386	377	317	287	271
	教職員	267	271	269	270	257
	卒業生・保護者・学外者	467	336	293	399	428
	合計	2,791	2,546	2,356	2,386	2,333
貸出冊数(冊)	小学校	35,557	36,443	35,319	34,969	37,782
	中等部	6,255	7,324	5,525	5,526	5,643
	高等部	13,606	12,277	11,437	11,885	9,717
	短大	5,045	4,818	4,573	3,545	3,805
	教職員	6,409	7,703	7,639	6,451	6,266
	卒業生・保護者・学外者	4,651	6,249	6,789	6,784	8,370
	合計	71,523	74,814	71,282	69,160	82,517
1人当たり 貸出冊数(冊) (小数点第一位 四捨五入)	小学校	66	67	67	66	75
	中等部	19	25	19	17	17
	高等部	17	17	17	20	18
	短大	13	13	14	12	14
	教職員	24	28	28	24	24
	卒業生・保護者・学外者	10	19	23	17	20
	平均	26	29	30	29	35

\* 2005年4月より開館時間の変更(平日8:10~17:30、土8:10~15:00)

\* 2006年7月3日~24日まで開館時間延長試行期間(平日8:10~18:30)

\* 2009年3月1日~19日までの開館時間(平日8:10~17:00)



分類別貸出冊数

	総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
小学校	85	589	1,656	729	1,691
中等部	12	143	90	105	81
高等部	32	214	495	331	321
短大	4	190	68	1,179	289
教職員	93	448	558	1,141	492
卒業生・保護者・学外者	34	249	332	391	357
合計	260	1,833	3,199	3,876	3,231

	技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
小学校	1,619	1,139	1,182	456	28,636
中等部	176	44	2,028	108	2,784
高等部	383	72	3,479	556	3,798
短大	132	21	817	18	1,083
教職員	267	82	1,272	264	1,207
卒業生・保護者・学外者	476	92	1,543	229	4,045
合計	3,053	1,450	10,321	1,631	41,553

資料別貸出数

		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度		2009年度	
中等部	図書	5,002	80%	5,961	81%	4,682	85%	4,380	79%	4,657	83%
	視聴覚	1,253	20%	1,363	19%	843	15%	1,146	21%	986	17%
高等部	図書	10,623	78%	9,301	76%	9,294	81%	9,556	80%	7,798	80%
	視聴覚	2,983	22%	2,976	24%	2,143	19%	2,329	20%	1,918	20%
短大	図書	4,194	83%	4,095	85%	3,822	84%	2,915	82%	3,365	88%
	視聴覚	851	17%	723	15%	751	16%	630	18%	446	12%
教職員	図書	4,921	77%	5,874	76%	5,973	78%	5,207	81%	4,924	82%
	視聴覚	1,488	23%	1,829	24%	1,666	22%	1,244	19%	1,050	18%
卒業生・保護者・学外者	図書	4,362	94%	5,605	90%	6,099	90%	6,265	92%	6,613	97%
	視聴覚	289	6%	644	10%	690	10%	519	8%	213	3%

\* 小学校は図書のみ利用のため対象外とする。

\* 視聴覚資料とはCD・カセット・ビデオ・LD・DVD等、印刷メディア以外の資料を指す。

\* 右欄のパーセント(%)は全貸出数に占める割合を示す。小数点第一位四捨五入。

9. 資料別予約件数

		2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
中等部	図書	269	354	311	237	264
	CD	44	101	48	85	71
高等部	図書	623	480	556	398	311
	CD	94	131	96	190	122
短大	図書	22	49	52	15	42
	CD	7	7	1	2	8
教職員	図書	408	477	586	475	376
	CD	10	14	11	5	1
卒業生・保護者・学外者	図書	67	63	66	88	117
	CD	2	8	5	8	0
合計	図書	1,389	1,423	1,571	1,213	1,110
	CD	157	261	161	290	202
	総計	1,546	1,684	1,732	1,503	1,312

\* 教職員のみ、CDにDVDなどの視聴覚資料全ても含む。

10. 購入希望受付件数

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
中等部	49	167	115	135	113
高等部	520	314	288	591	392
短大	6	49	14	16	21
合計	575	530	417	742	526

\* 教職員は購入申請のため除く。

\* 卒業生・保護者の購入希望は受け付けていないため除く。

\* 絶版などで入手できなかったものも含む。

11. 館内施設利用件数

研究室利用件数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
学習	706	618	594	655	515
中等部	37	139	144	184	148
高等部	609	427	409	407	353
短大	57	47	27	39	10
初等教育	47	46	25	32	9
人間環境	10	1	2	7	1
看護					0
卒業生・保護者	3	5	14	25	4
ビデオ	107	68	41	715	33
中等部	27	23	8	229	12
高等部	68	34	21	342	15
短大	11	10	11	126	5
初等教育	11	10	11	121	5
人間環境	0	0	0	5	0
看護					0
卒業生・保護者	1	1	1	18	1
全利用回数	1,277	1,333	1,359	1,370	548

\* グループでの利用は1回とする。

\* 2009年度の人間環境学科は2回生のみ、看護学科は1回生のみとする。

C D機器利用件数(過去5年間)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
中等部	8	18	17	17	9
高等部	6	11	16	20	10
短大	17	6	11	14	16
初等教育	17	5	11	8	16
人間環境	0	1	0	6	0
看護					0
卒業生・保護者	0	1	2	1	0
合計	31	36	46	52	35

\* 2009年度の人間環境学科は2回生のみ、看護学科は1回生のみとする。

インターネット利用件数(過去5年間)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
中等部	186	822	1,295	1,478	1,388
高等部	171	180	277	444	244
短大	2	3	1	7	3
初等教育	2	1	0	7	3
人間環境	0	2	1	0	0
看護					0
卒業生・保護者	0	2	4	1	0
合計	359	1,007	1,577	1,930	1,635

\* インターネット利用のカウンタは、昼休みと放課後のみとしている。

\* 2009年度の人間環境学科は2回生のみ、看護学科は1回生のみとする。

研究室利用、C D機器利用、インターネット利用ともに2008年度に比べ減少している。研究室利用については、学習での利用は生徒数の減少を考慮すると横ばいだが、DVD鑑賞の利用が激減している。インターネット利用に関しては、特に中学生の利用が多い。

資料の貸出数は2008年度に比べほぼ横ばいであるが、高校生が減少傾向にある。それに対して卒業生・保護者・学外者で増加しており、継続的に利用されている方が多く見受けられ、生涯学習の場としての図書館利用が増えてきたのは喜ばしいことである。今後も、だれもが利用しやすい図書館づくり、新鮮で魅力的な資料の充実などを心がけて活動していく必要がある。

## . 短期大学活動報告・統計

### 1 . 活動報告

#### 1 ) 新入生オリエンテーション

1 回生オリエンテーションガイダンス期間中に、初等教育学科は 23-24 名 4 グループ、人間環境学科は 10 名 3 グループに分けて、50 分間の図書館利用ガイダンス（利用説明、館内ツアーなど）を実施した。また、人間環境学科のみ鶴見学舎において、10 分間のメディアコーナーの利用案内を実施した。また、10 月に訓練生 29 名が入学し、同じく図書館利用ガイダンスを実施した。

#### 2 ) 研究室蔵書点検

両学科とも 9 月に各研究室の蔵書点検を行った。

#### 3 ) 鶴見学舎メディアコーナー

2009 年度より人間環境学科が廃止され、看護学科が設置された。そのため、2008 年度内にメディアコーナーの図書の総入替を行った。メディアコーナーの蔵書は、2010 年 3 月末の時点で 5,008 冊であり、年間 366 冊増加している。

#### 4 ) 看護学科教員にメールによるお知らせ

4 月に看護学科教員に対し、図書購入・相互貸借・文献複写等の申し込み方法をメールにてお知らせした。また、データベース「医中誌web」についてのお知らせも行った。

#### 5 ) 看護学科 1 回生に文献探索ガイダンス

12 月 9 日に看護学科 1 回生に対し 2 グループに分けて文献探索ガイダンスを実施した。

### 2 . 図書予算決算報告

\*\*\* 決算報告書 \*\*\*

寄贈図書を含まない 2009 年度の受入資料数は、2,433 冊 7,199,672 円で、学生一人当たりになると約 8.9 冊 26,567 円になる。

2009 年度は看護学科の図書を 366 冊購入した。これに対し、初等教育学科では例年 300 冊以上購入しているが 239 冊と少なくなっている。執行金額も看護学科が 270 万円に対し、初等教育学科 60 万円と対照的である。

看護学科では、2009 年度、特別に DVD の購入のため 100 万円余分に執行されていることも原因である。

### 3 . 蔵書冊数

99,443 冊（2010 年 3 月 31 日現在）

科目名	執行額				
	冊数	金額			
初等教育	239	601,585			
看護	366	2,726,996			
参考図書	110	789,806			
図書館	1,426	2,292,882			
図書館同和	7	28,256			
<b>小計</b>	<b>2,148</b>	<b>6,439,525</b>			
入試部			佐嶋研究室	1	2,160
教務課			芝研究室		
学生課			鈴木研究室	5	12,759
同和教育	1	4,200	高井研究室		
情報教育	12	37,377	瀧本研究室	10	30,806
卒業研究	18	42,147	田中研究室	13	35,006
児童教育研究所			種谷研究室		
環境総合研究所			中嶋研究室	11	29,863
			中島充代研究室	12	30,936
足高研究室			中野研究室	8	31,089
足立研究室	15	20,483	長尾研究室	8	10,279
アラン研究室	7	25,538	西研究室	11	31,467
飯田研究室	17	24,531	橋本研究室	14	32,023
井内研究室	12	31,739	馬場研究室		
市川研究室	15	35,999	平田研究室		
岩井研究室	18	44,319	藤本研究室	6	12,757
上田研究室	14	40,161	古谷研究室	13	33,796
奥田研究室	1	1,134	宮崎研究室	2	23,625
小野寺研究室	7	33,925	宮本研究室	2	4,157
角地研究室	13	24,572	敷内研究室	10	26,771
高坂研究室			吉田研究室	1	12,210
佐久研究室	8	34,318			
			<b>合計</b>	<b>2,433</b>	<b>7,199,672</b>

<学生一人当たり購入冊数/8.9冊 金額/26,567円>

#### 4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	推薦図書	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	74	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	92
000	139,341	149,683	0	0	0	0	0	0	0	0	0	289,024
哲学	176	10	0	0	0	0	0	7	0	2	0	195
100	321,204	91,264	0	0	0	0	0	18,200	0	7,182	0	437,850
歴史	85	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	96
200	164,949	207,273	0	0	0	0	0	0	0	0	0	372,222
社会科学	641	31	0	0	0	1	6	0	0	4	2	685
300	1,086,033	215,114	0	0	0	1,323	11,907	0	0	26,931	5,880	1,347,188
自然科学	1,059	43	0	0	0	1	0	0	3	52	0	1,158
400	2,867,837	216,434	0	0	0	1,134	0	0	51,660	1,636,852	0	4,773,917
技術	111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	111
500	157,090	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157,090
産業	43	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	48
600	65,052	12,378	0	0	0	0	0	0	14,000	0	0	91,430
芸術	190	3	0	0	39	7	0	28	0	36	0	303
700	307,093	12,096	0	0	93,064	6,757	0	63,209	0	65,342	0	547,561
言語	57	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77
800	120,624	80,318	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200,942
文学	140	3	35	0	0	0	0	0	0	1	0	179
900	279,593	15,433	37,850	0	0	0	0	0	0	3,591	0	336,467
合計	2,576	143	35	0	39	9	6	35	4	95	2	2,944
	5,508,816	999,993	37,850	0	93,064	9,214	11,907	81,409	65,660	1,739,898	5,880	8,553,691

(上段：冊数、下段：金額)寄贈図書を含む

#### 和洋別受入数

	購 入		寄 贈		そ の 他		合 計	
	冊数	金 額	冊数	金 額	冊数	金 額	冊数	金 額
和書	2,380	6,918,546	429	1,232,055	69	89,470	2,878	8,240,071
洋書	53	281,126	12	31,094	1	1,400	66	313,620
合計	2,433	7,199,672	441	1,263,149	70	90,870	2,944	8,553,691

年間受入資料数は、2,944冊 8,553,691円で一冊平均2,905円である。2009年度設置の看護学科関連の図書を多く受入れたため、購入冊数が2008年度より475冊少なく、1冊平均単価が541円程度上がっている。また、看護学科関連の寄贈図書が増加し、寄贈図書数が2008年度より148冊、金額で約63万円分多くなっている。

#### 5. 貸出冊数

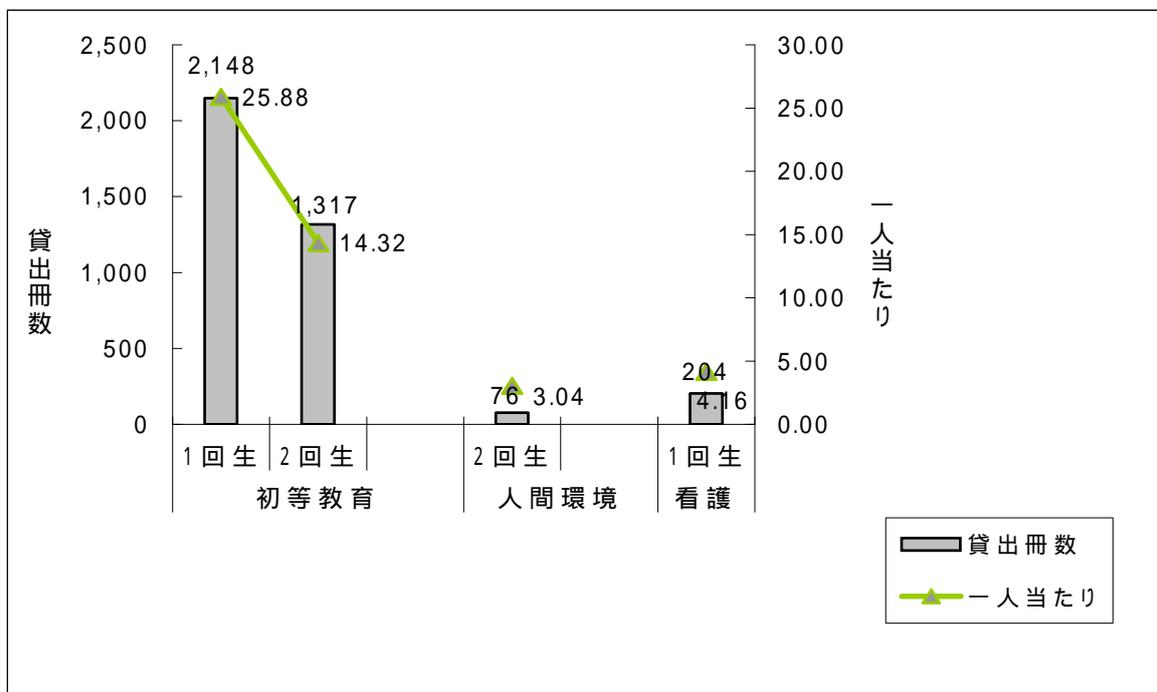
貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
対象人数（人）	386	359	317	287	271
貸出冊数（冊）	5,045	4,534	4,573	3,545	3,805
1人当たり貸出冊数（冊）	13.07	12.62	14.43	12.35	14.0
初教1人当たり	13.50	15.46	17.16	14.66	19.8
人環1人当たり	7.36	5.22	6.34	8.53	3.0
看護1人当たり					4.2

資料別貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
図書	4,194	4,095	3,822	2,915	3,365
A V資料	851	723	751	630	446
合計	5,045	4,818	4,573	3,545	3,805

学科・学年別貸出数



初等教育学科学年別統計

学年	0分類	1分類	2分類	3分類	幼児教育	4分類	5分類	6分類	7分類	CD類	8分類	9分類	絵本	分類無	合計
1回生	2	26	14	318	190	72	35	4	238	116	4	308	131	0	1,021
2回生	0	10	1	485	392	44	35	6	252	151	4	480	454	0	1,317
訓練生	2	120	50	338	132	53	58	7	205	77	9	276	98	9	1,127

\* 幼児教育（376.1-）は3分類の冊数に含まれる。

\* CD類は7分類の冊数に含まれる。

\* 絵本は9分類の冊数に含まれる。

人間環境学科学年別統計

学年	0分類	1分類	2分類	3分類	4分類	5分類	6分類	7分類	CD類	8分類	9分類	分類無	合計
2回生	0	25	3	2	7	4	0	19	19	0	15	1	76

看護学科学年別統計

学年	0分類	1分類	2分類	3分類	4分類	5分類	6分類	7分類	CD類	8分類	9分類	分類無	合計
1回生	0	9	0	1	112	0	4	83	60	1	0	0	210

鶴見学舎メディアコーナーの年間貸出冊数

初教1	初教2	看護1	人環2	合計
0	0	118	17	135

初等教育学科は、2009年10月より政府の雇用対策として訓練生29名が入学した。4月より利用している1回生・2回生に対し、10月に入学した訓練生の方が29人と人数が少ないにもかかわらず貸出数に遜色がないのが特徴である。訓練生を除く貸出数は2,339冊と例年にない低迷である。一人当たりの貸出数は、1・2回生が9.6冊なのに対し、学生訓練生は38.8冊と非常に高い数値となっておりこれが2009年度貸出数を伸ばした要因である。

看護学科は、1回生49人のみであるが、学科の内容から考えてもっと貸出が多くなって当然であると思われるが非常に少ない数にとどまっている。また、専門分野の図書がある鶴見学舎メディアコーナーの図書は半数程度で、残り半数は本館のCDなどとなっている。

## 6. まとめ

初等教育学科では、10月より政府の雇用対策として初等教育学科に訓練生29名が入学した。利用状況でも記載しているが、訓練生の貸出数は他の学生よりも非常に多く、また、分野的にも幼児教育・CDばかりではなく多方面の分野の資料が貸出されている。既存の学生の利用は低迷しているので利用促進の方策を考える必要がある。

第2点目は、新たに看護学科が設置されたことである。

人間環境学科は、2008年度より学生募集を停止し、2009年度卒業生で廃止となる。

新たに看護学科が設置され、49名の学生が入学した。看護学科は、資料への要求が高いと考えられるため、図書館としてもこれまでの鶴見メディアコーナーの運営を見直す必要がある。また、学生への文献探索指導も、学科内容をしっかり把握したうえで行うべきであったと反省している。今後も、教員との連絡を密にし、学生・教員への適切なアドバイスができるように努めていきたい。

## ．高等部活動報告・統計

### 1．活動報告

#### 1) オリエンテーション

オリエンテーション期間中に外部生を対象に50分を用い、1グループ16～19名に1人の館員がつき、館内ツアーと図書館ガイドブックによる利用案内を行った。

#### 2) 教科との連携

- ・2年生の総合学習において、パスファインダー『「沖縄」「八重山諸島」に関する資料の探し方～修学旅行の事前学習に向けて～』、『「フランス」「パリ」に関する資料の探し方～修学旅行の事前学習に向けて～』を全員に配布し、調べ学習に供した。
- ・3年生の家庭の授業において、保育関係資料やレシピ調べに図書館の資料が利用された。
- ・美術の授業では美術書がよく利用された。

#### 3) 図書委員会活動

高校図書委員会は各クラスより2名の委員が選出され、計34名で組織されていた。しかしながらあまり活動できていない。

##### < 選書 >

図書委員がクラス全員に購入希望図書を調査し、「高校図書委員会購入希望調査カード」に記入後図書館に提出している。購入後図書館は個別に申請した生徒に連絡した。

#### 4) 広報活動

広報紙『らい ぶらり』を毎月発行し、全生徒・全教職員に配布し、図書館利用や貸出の促進を図った。教員への広報紙『図書館ニュース(先生方へ)』を4回発行し、図書館活動の紹介、クラス担任へのお願いや購入申請方法・予算残高のお知らせなどをした。

また、「テーマ展示」「図書館員が薦める今週の一冊」など実物展示による広報活動を実施した。

### 2．図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
高校図書	386	576,700
図書館	719	922,305
同和教育	1	3,024
リクエスト	241	214,132
視聴覚リクエスト	116	283,622
合計	1,463	1,999,783

一人当たりの購入数 / 2.66 冊      金額 / 3,827 円

購入資料数(寄贈資料を除く)は1,463冊、1,999,783円である。一人当たりの購入数は2.66冊、3,827円であり、2008年度より予算が減額されているが生徒数が減少している分増加している。

2009年度の先生方による購入申請(高校図書)冊数は全体の約26.4%で2008年度より5%減

少している。

生徒からの購入希望冊数（リクエスト、視聴覚リクエスト）は、予算額の減少にともない冊数に制限（一人当たり本は月4冊まで、CDは2枚まで）を設けた。その結果本の購入希望は減少し、CDは増加した。実際にはこれ以上の購入希望があったが、発行年の古いものは公共図書館から借りて提供した。

### 3. 蔵書冊数

47,750冊(2010年3月31日現在)

2008年度より減少しているのは、古本を中心に除籍したものが多くなっているからである。

### 4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	CD	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	12	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
000	11,112	14,282	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,394
哲学	112	1	0	0	0	1	0	3	0	0	0	117
100	127,291	3,118	0	0	0	1,418	0	6,690	0	0	0	138,517
歴史	117	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	118
200	150,266	17,010	0	0	0	0	0	0	0	0	0	167,276
社会科学	154	6	0	0	0	0	0	0	0	6	0	166
300	161,202	55,056	0	0	0	0	0	0	0	39,690	0	255,948
自然科学	82	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	83
400	95,196	0	0	0	0	0	0	2,835	0	0	0	98,031
技術	56	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	56
500	72,433	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,433
産業	30	0	0	0	0	1	0	5	0	0	0	36
600	36,920	0	0	0	0	1,200	0	6,472	0	0	0	44,592
芸術	122	0	0	0	16	36	0	120	0	4	0	298
700	202,986	0	0	0	33,723	28,616	0	299,400	0	16,254	0	580,979
言語	77	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	82
800	95,760	21,168	0	0	0	832	0	0	0	0	0	117,760
文学	615	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	617
900	590,042	17,010	899	0	0	0	0	0	0	0	0	607,951
合計	1,377	15	1	0	16	39	0	129	0	10	0	1,587
	1,543,208	127,644	899	0	33,723	32,066	0	315,397	0	55,944	0	2,108,881

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料数は、1,587冊、2,108,881円、一冊平均1,329円で、予算削減に伴い2008年度と比較すると受入冊数ならびに一冊の平均単価が減少している。

受入資料の約87%が一般図書である。傑作文学を漫画化した「まんがで読破」シリーズを2008年度に続き購入したため、マンガが39冊と少し多くなっている。

分野別に見ると文学が39%と毎年最も多くを占めており、続いて芸術が19%となっている。内容的には文学が研究書・小説・文庫本で読み物が中心であり、芸術の約半数がCDとなっている。

今後も、よりよい資料提供を行うために、蔵書構成に留意し購入を図っていきたい。

## 5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
対象人数（人）	801	724	658	587	551
貸出冊数（冊）	13,606	12,277	11,437	11,885	9,716
1人当たり貸出冊数（冊）	16.99	16.96	17.38	20.25	17.63

学年別貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
1年	4,519	3,541	4,636	4,830	3,067
2年	4,082	4,287	2,913	4,428	3,925
3年	5,005	4,452	3,888	2,627	2,724

学年別一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
1年	18.2	16.2	23.2	26.8	16.9
2年	15.6	17.4	13.5	22.5	22.2
3年	17.2	17.2	16.1	12.5	14.1

資料別貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
図書	10,623	9,301	9,294	9,556	7,798
A V資料	2,983	2,976	2,143	2,329	1,918
合計	13,606	12,277	11,437	11,885	9,716

分類別貸出冊数

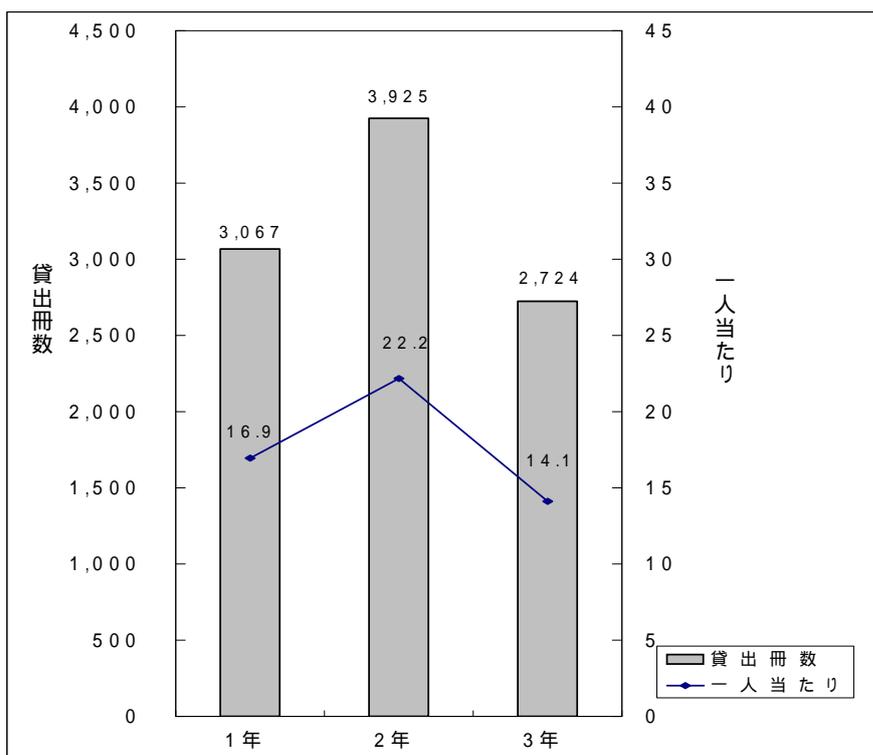
総記(000)	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
32	214	495	331	321
技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
383	72	3,479	556	3,798

一人当たりの貸出冊数は緩やかな増加傾向にあったが、2009年度はまたもや減少してしまった。学年別一人当たりの貸出数を見ると1年生の減少が目立っている。3年生は1・2年生のときはよく借りていたが3年生になって貸出が極端に減少している。

貸出数を資料別で見ると、約80%が図書になっている。分類別では、文学が40%と高く、続いて芸術が36%であり、両分野で76%を占めている。その内容を見ると例年同様、文学においては小説・文庫本・学習参考書、芸術においては音楽CD・楽譜・美術関係の本が多くなっている。

引き続き生徒のニーズを把握し、求める資料の提供や広報活動に努め、貸出を伸ばしていきたい。

## 学年別貸出数



## 6. まとめ

2009年度は全体的に図書館の利用が減少している。広報紙『らい ぶらり』を全生徒へ配布、新着図書案内『あたらしい本』の発行、「テーマ展示」「図書館員が薦める今週の一冊」の実施や、予約・購入希望など生徒のニーズに応える資料提供への取り組みを引き続き行っていたのだが、利用には結びつかなかった。

新しい学習指導要領では、全教科・領域で「言語力」の育成を図ることになった。これは全教員が各教科指導の中で読書指導や読書活動を取り入れた学習を行うことになると考えられ、教科書だけの学習に止まることなく豊富な資料を使用した授業が求められている。その時に役に立つのが豊富な資料を保存している図書館である。

今後も先生方と図書館員が協力し、生徒に対し様々な働きかけを行い、「生きる力」の基本となる調べる力・探求する力をつれるための利用指導を行わなければならないと考えている。是非とも先生方には授業での図書館活用をお願いしたいものである。

## ． 中等部活動報告・統計

### 1．活動報告

#### 1) オリエンテーション

4月9・10日に1年生全員を対象に1クラスを9～10名のグループに分け、図書館ガイドブックに基づき50分間の利用案内と館内ツアーを行った。

#### 2) 教科との連携

- ・2年生の総合学習において、パスファインダー『「職業」「資格」に関する資料の探し方～未来の仕事を探せ～』を全員に配布し、調べ学習に供した。
- ・1年生の英語、2年生の家庭科、3年生の美術の授業において調べ学習の利用があった。

#### 3) 広報活動

広報誌『らい ぶらり』を毎月発行し全生徒・全教職員に配布している。配布すると直ちに「この本どこにある?」「お母さんがこの本読みたいって」などの反響が必ずあるが、利用拡大にはつながっていないようである。

また、教職員への広報誌『図書館ニュース(先生方へ)』を全教職員に学期に1～2回配布し、購入申請方法・予算残高のお知らせや図書館活動などを紹介した。

#### 4) 資料の別置

「修学旅行」関連資料(5-7月)を4階の研究室41の前に別置した。

#### 5) その他

中学生は総退出時間が設定されており、それ以後に居残りを希望する生徒は、カウンターの「図書館居残り届」に必要事項を記入することで放課後の利用が認められている。

2009年度の居残り届提出者数は延べ2,114名と、放課後の図書館利用が年々増加している。しかしながら貸出数には結びついていないようである。これは、図書館でインターネットや学習などでの研究室だけ利用する生徒が増えているからだと思われる。

### 2．図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
中学校図書	51	93,113
図書館	314	495,257
同和教育	0	0
リクエスト	55	61,536
合計	420	649,906

一人当たり購入数約 / 1.3冊 金額約 / 2,012円

2009年度の購入資料数(寄贈図書を除く)は、420冊649,906円である。一人当たりの購入数は、約1.3冊2,012円である。

図書館での選書が全体購入冊数の約75%を占めており、2008年度の約46%より増加してい

る。先生方からの購入申請（中学校図書）図書冊数は、2008年度の約35%から約12%と減少している。今後も授業・研究に必要な図書、生徒に推薦する図書など幅広い分野における積極的な購入申請をお願いしたい。

生徒からの購入希望冊数（リクエスト）は2008年度の約18%から約13%と減少しており、生徒の貸出数の減少に比例して購入希望も少なくなったと考えられる。

### 3. 蔵書冊数

12,965冊（2010年3月31日現在）

### 4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
000	8,233	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,233
哲学	16	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	20
100	25,028	0	0	0	0	3,692	0	0	0	0	0	28,720
歴史	27	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	29
200	45,487	0	0	0	0	4,726	0	0	0	0	0	50,213
社会科学	71	3	0	0	0	3	0	0	0	6	0	83
300	143,991	10,900	0	0	0	2,570	0	0	0	17,706	0	175,167
自然科学	41	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	41
400	72,933	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	72,933
技術	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30
500	52,098	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,098
産業	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
600	33,549	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33,549
芸術	32	0	0	0	2	1	0	0	0	3	0	38
700	48,998	0	0	0	4,347	1,323	0	0	0	10,596	0	65,264
言語	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
800	16,345	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16,345
文学	163	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	173
900	173,426	0	9,752	0	0	0	0	0	0	0	0	183,178
合計	412	3	10	0	2	10	0	0	0	9	0	446
	620,088	10,900	9,752	0	4,347	12,311	0	0	0	28,302	0	685,700

（上段：冊数、下段：金額）寄贈図書を含む

年間受入資料数は、446冊685,700円で一冊平均1,537円である。

毎年のことながら9分類(文学)の受入が最も多くなっており、2008年度も受入資料の約39%を占める結果となってしまった。

そのうちの約37%が一般書である。内容的には生徒の読み物が中心になっており、購入希望の文庫本や話題の小説が大半を占めている。

2010年度も引き続き全体構成を意識して選書に際して全体のバランスを今一度考慮するように努めなければならないと考えている。

## 5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
対象人数（人）	328	294	289	316	323
貸出冊数（冊）	6,255	7,324	5,525	5,526	5,643
1人当たり貸出冊数(冊)	19.07	24.91	19.12	17.49	17.47

資料別貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
図書	5,002	5,961	4,682	4,380	4,657
A V資料	1,253	1,363	843	1,146	986
合計	6,255	7,324	5,525	5,526	5,643

分類別貸出冊数

総記（000）	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
12	143	90	105	81

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
176	44	2,028	108	2,784

クラス別貸出冊数

	A組	B組	C組	D組	合計
1年	716	848	906	428	2,898
2年	630	658	120	327	1,735
3年	226	118	438	228	1,010

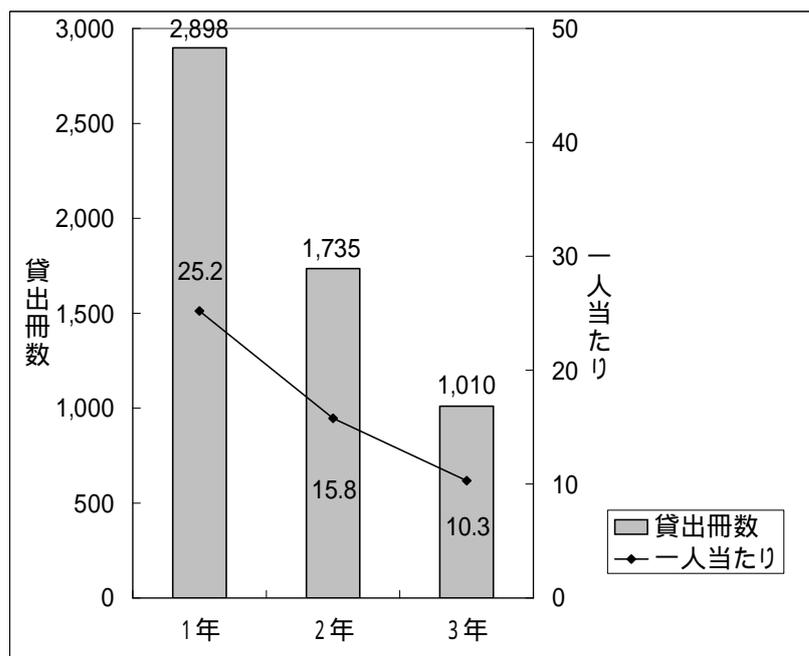
学年別貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
1年	2,518	3,001	1,784	2,691	2,898
2年	2,033	2,291	1,667	1,474	1,735
3年	1,704	2,032	2,074	1,361	1,010

学年別一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
1年	28.6	28.3	18.2	24.7	25.2
2年	19.4	27	15.6	14.9	15.8
3年	12.6	19.7	24.7	12.6	10.3

学年別貸出数



一人当たりの貸出数は2007年度以降減少傾向にあり、2009年度は平均17冊である。

資料別貸出数を見ると図書が約83%、AV資料が17%である。2008年度より図書が4%増加し、その分AV資料が減少している。

分類別貸出数を見ると9分類(文学)、7分類(芸術)の順に多くなっており、全体の貸出冊数の約85%を占めている。これらのお大半が生徒からの購入希望として出されたものであると考えられる。

クラス別貸出数を見ると学年・クラスにより多少ばらつきが見受けられる。これは、クラスに図書館をよく利用し、資料を借りていく生徒がいるかどうかによると思われる。

学年別貸出数を見ると学年が進むにつれ貸出が減少している。その中でも1年生と2・3年生の貸出数の差が大きいのが気にかかることである。

## 6.まとめ

総退会後の居残りを希望し「図書館居残り届」の届出者は年々増加しており、様々な形で図書館の利用が多くなっていることは喜ばしいことである。しかし、放課後の利用は増えているように思われるが、貸出数の増加には結びついていないようである。昼休みや放課後の利用状況から推察すると、インターネットの利用目的での来館が多くなっているようである。この図書館でのインターネット利用者を、読書活動に結びつけるような取り組みを考えなければならない。

図書館での選書が約75%を占めており、先生方からの購入申請(中学校図書)が2008年度に比べて減少している。図書館での選書では、蔵書のバランスを取るのが難しい状況であり、先生方の協力が必要である。今後も各自の授業・研究に必要な図書、生徒に推薦する図書など幅広い分野における積極的な購入申請をお願いしたい。それと同時に、2009年度に調べ学習で利用のあった教科以外の利用にも発展していくよう先生方といろいろな面で連携を図りながら、支援を行っていきたい。

## ・小学校活動報告・統計

### 1. 活動報告

#### 1) オリエンテーション

2年生以上の各クラスで最初の「図書の日」に貸出・返却・利用マナーなどを説明した。2年生ではリクエストについて、4年生以上には貸出カードの個人管理についての注意を加えて行っている。1年生はゴールデンウィーク明けに学校探検で図書館訪問があり、5月終わりにはじめての貸出をした。このときにオリエンテーションとして絵本の読み聞かせと貸出手続きの説明を行った。例年に比べ1年生の利用開始が遅かった。

11月にはコンピュータの授業時間に協力いただき、小学校の多目的室で4年生を対象にコンピュータ検索のオリエンテーションを行った。

#### 2) 図書館サービス

図書館が行ったレファレンス、授業との連携、読み聞かせ・本の紹介などには下記のものがあった。

- ・ 毎年恒例の体験学習の広島（5年）や修学旅行の関東（6年）の資料集め
- ・ 2年生で絵本や物語の並び方・探し方、3年生で分類番号1ケタの説明、4年生で分類番号3ケタの説明
- ・ 6年生＜俳句や短歌＞の資料集め
- ・ 夏休み前に各学年の＜国語単元「この本読んでみよう」＞に紹介されている本を展示
- ・ 6年生＜歴史人物調べ＞主に源義経・紫式部・平清盛・藤原道長・卑弥呼・聖徳太子について調べられる資料を集める。
- ・ 4年生＜国語単元「手で食べる」＞に関連して、文化のちがいを調べられる本を集める。
- ・ 2年生＜生活科＞ お正月行事や遊びなどの本で、2年生が読める程度のものを集める。
- ・ 1年生＜国語単元「民話をよもう」＞の関連で日本の民話を集め展示。
- ・ 教育会広報委員会で発行している「教育会だより」に図書館からの推薦本を掲載するという事で、学期毎に広報委員の保護者の方へいくつかのテーマで本の準備や紹介。（推薦文は広報委員の方が書かれた）

上記の他にも先生方から教科単元に関する資料集めの依頼はあったが、児童たちの様子から調べ学習をしているらしい、ということも何度か見受けられた。授業と連携し図書館を使ってもらいたいという働きかけが不足していた。

### 2. 図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
小学校図書	669	849,809
同和教育	0	0
合計	669	849,809

一人当たり購入数 / 1.33冊      金額 / 1,689円

### 3. 蔵書冊数

15,511 冊 (2010 年 3 月 31 日現在)

### 4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17
000	24,185	2,174	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26,359
哲学	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
100	25,947	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25,947
歴史	40	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	42
200	46,158	0	0	0	0	1,854	0	0	0	0	0	48,012
社会科学	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
300	52,808	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52,808
自然科学	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100
400	164,143	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	164,143
技術	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39
500	71,680	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71,680
産業	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
600	23,215	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,215
芸術	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40
700	51,176	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	51,176
言語	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
800	23,063	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23,063
文学	280	0	105	0	0	0	0	0	0	0	0	385
900	267,046	0	128,614	0	0	0	0	0	0	0	0	395,660
合計	594	1	105	0	0	2	0	0	0	0	0	702
	749,421	2,174	128,614	0	0	1,854	0	0	0	0	0	882,063

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料冊数は、702 冊 882,063 円で一冊平均 1,256 円である。やや一冊の平均単価が減っている。

よく読まれる絵本や物語類の破損のひどいものの買い替え、または補充などしたために 9 分類 (文学) の受入が高い比率を占めている。よく利用され今後も買い替えや補充が必要な 9 分類の購入率が高いのは仕方ないとして、できるだけバランスよく購入するよう心がけていきたい。

2009 年度は選書委員の先生方と本屋に出向き現物を見ての選書ができず、ほとんどがカタログや書評、利用状況などから図書館で選書したものを購入する結果となった。授業で利用するため、児童たちに推薦するため、先生方からの購入申請をお願いしたい。

## 5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数（過去5年間）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
対象人数（人）	542	544	530	527	503
貸出冊数（冊）	35,557	36,443	35,319	34,969	37,782
1人当たり貸出冊数（冊）	65.60	66.99	66.64	66.35	75.1

分類別貸出冊数

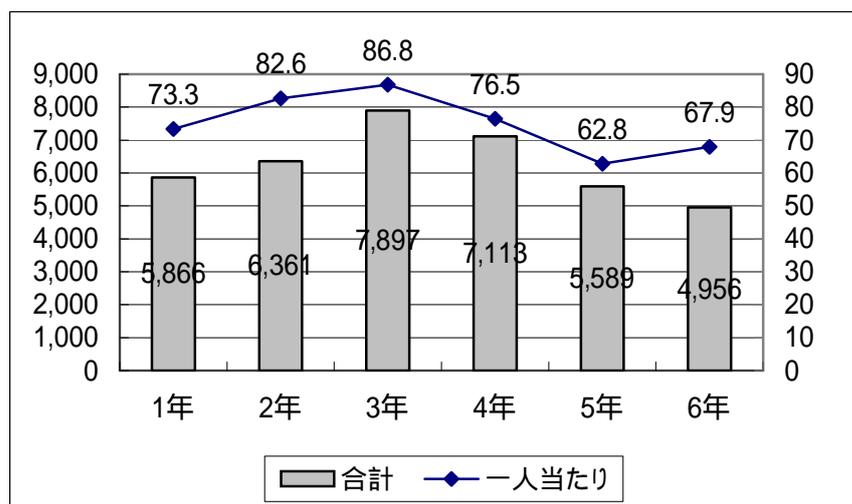
総記（000）	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
85	589	1,656	729	1,691

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
1,619	1,139	1,182	456	28,636

学年別貸出冊数

	貸出冊数	児童数	一人当たり
1年	5,866	80	73.3
2年	6,361	77	82.6
3年	7,897	91	86.8
4年	7,113	93	76.5
5年	5,589	89	62.8
6年	4,956	73	67.9

学年別貸出冊数



分類別クラス貸出冊数

総記（000）	哲学(100)	歴史(200)	社会科学(300)	自然科学(400)
7	5	14	26	33

技術(500)	産業(600)	芸術(700)	言語(800)	文学(900)
2	0	12	25	118

\* クラス貸出は調べ学習など学級で利用できるよう1ヶ月30冊を上限に貸し出している。

ここ数年一人当たりの貸出冊数は66冊で推移していたが、2009年度は75冊に大幅アップしている。6年生でとても増加しており2008年度より一人当たりの貸出冊数が20冊も増えている。小学校で行われている朝の読書タイムに図書館の本を読むように指導されているからだろうか。

貸出資料の約76%が9分類(文学)だった。9分類(文学)以外の貸出では各分野の学習マンガの利用、5分類(工業)の料理の本、6分類(産業)のペットの飼い方に関する本など個人の楽しみで読む本が多かったように思う。たくさん借りられるのは図書の時間という授業があるからだが、どんな形でも「読書」の習慣を中学へとつなげていってほしい。

調べ学習や学級文庫として使えるようクラス貸出も設定されているが、管理が難しいこともあり260冊程度の貸出と多くはなかった。

## 6.まとめ

よく借りられる分野にさほど変化はみられなかったが、2009年度は貸出数が大きく増えたのは嬉しいニュースである。ただ、学習マンガやシリーズ物に偏っているのは気になるところで、どちらかというとな読書が苦手な児童に多い傾向にあるように思う。図書の時間には調べ学習の協力や本を紹介する機会を増やしていきたい。

また年度始めに学年・月毎の簡単な「図書館利用指導年間計画」が係りの先生より提案されるが、最初に設定されているオリエンテーションと4年生のコンピュータ検索指導のほかは実践できていない。先生方と協力して年間計画の見直しをし、図書館を上手に使えるよう段階的な利用指導に努めていきたい。

## ．幼稚園活動報告・統計

### 1．活動報告

幼稚園の活動は、幼稚園 2 階にある図書室で、保護者の協力のもとに各クラスから選出された図書委員 6 名×10 クラスの計 60 名により、園児を対象に貸出が行われている。

#### 1) 図書委員会 (保護者委員)

- ・ 2009 年 6 月 8 日 図書委員紹介・活動内容説明・役割分担
- ・ 2010 年 2 月 25 日 反省会

#### 2) 貸出・返却

開室日時 : 毎週木曜日 12:00 ~ 14 : 00 (年間 17 回最終日は返却のみ)

貸出冊数 : 園児 3 冊まで

貸出期間 : 1 週間

貸出等の手続きは図書委員 12 名・役員 3 名グループの輪番制によって行われている。

#### 3) 図書部会 (図書係先生)

- ・ 2009 年 6 月 4 日 第 1 回図書館教育委員会

#### 4) 発行物

- ・ 学院図書館案内 (1 学期始業時・入園時)

毎年年度の初めに、保護者の方々へ学院図書館の利用案内を配布している。

- ・ としょかんつうしん (年 3 回)

保護者を対象に、図書室における園児貸出の様子や、図書館資料の案内、お知らせやお願いなどを中心とした内容で発行している。

### 2．図書予算決算報告

科目名	冊数	金額
幼稚園図書	119	148,322
図書館	99	101,518
同和教育	0	0
合計	218	249,840

一人当たり購入数 / 0.78 冊 金額 / 899 円

### 3. 蔵書冊数

5,158 冊 (2010 年 3 月 31 日現在)

### 4. 年間受入資料数

分類番号	一般図書	参考図書	絵本	紙芝居	楽譜	マンガ	カセット	C D	ビデオ	DVD	CD-ROM	合計
総記 000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
哲学 100	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
歴史 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会科学 300	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	7
自然科学 400	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
技術 500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
産業 600	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
芸術 700	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
言語 800	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
文学 900	10	0	187	0	0	0	0	0	0	0	0	197
合計	46	0	187	0	0	0	0	0	0	2	0	235
	46,640	0	203,202	0	0	0	0	0	0	17,954	0	267,796

(上段：冊数、下段：金額) 寄贈図書を含む

年間受入資料数は、235 冊 267,796 円で一冊平均 1,140 円である。

受入資料数の約 84% が絵本やよみものである。満 3 歳児 (ひよこぐみ) の人数も増え、としよ貸出にも対応しているため、2 ~ 3 歳児向けの絵本も購入した。2009 年度も夏に一度、図書系の先生と図書の取次店に行って直接選書を行った。

また、消耗図書としては各クラスにしかけ図鑑の本を購入し、図書室には古くなった本の買い替えを購入した。

### 5. 貸出冊数

貸出冊数及び一人当たりの貸出数 (過去 5 年間)

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2008年度
対象人数 (人)	344	324	352	313	278
貸出冊数 (冊)	8,433	8,839	12,387	10,810	10,934
1人当たり貸出冊数 (冊)	24.51	27.28	35.19	34.54	39.33

\* 対象人数は 4 月 1 日現在の園児数である。

分野別貸出数（ラベルの色）

児童文学(赤)	宗 教(黄)	学習百科(緑)
9,311	68	1,555

クラス別貸出冊数

園児数	28	29	29	27	28	29	25	27	29	27	278
クラス	ばら	ゆり	のばら	ひまわり	ふじ	ちゅうり っぷ	たんぼぼ	さくら	すみれ	きく	合計
赤	948	893	886	820	898	1,052	886	884	945	1,099	9,311
黄	9	9	3	15	7	6	5	0	9	5	68
緑	102	127	138	133	234	166	191	108	228	128	1,555
冊数	1,059	1,029	1,027	968	1,139	1,224	1,082	992	1,182	1,232	10,934
人数	424	453	435	376	447	484	406	426	458	498	4,407

\* 園児数は4月1日現在の数である。

2009年度は開室日（貸出日）数が、新型インフルエンザの影響で当初予定の日数よりも1日少なくなった。それでも2008年度よりも1日多く貸出を行っている。貸出利用者の総のべ人数は4,407人である。1回の開室につき平均約275名の利用となり、ほぼ全園児が利用している値になるが、これは園児数に含まれていない年度途中からの満3歳児が入園し、その都度図書貸出にも対応した結果である。

また、2008年度も夏休み期間中と冬休み期間中にも貸出を行い、蔵書点検を6月の貸出前に行った。

6.まとめ

図書貸出については、2009年度は園児に「借りたものはきちんと返す」という意識づけを持たせるために、「返却期限まで（期限内にいつでも）に返す」「返却期限までに返さないと借りることが出来ない」というルールを設定した。その結果、延滞者の数が減少し、長期延滞者がほとんど見られなくなった。「としょ貸出の日には本を借りる」というのが園児のなかでも定着し、先生方も日々の活動や行事の合間をみて貸出の時間を設けてくださり、2009年度は新型インフルエンザの影響で学級閉鎖となったクラスを除いて、毎回ほぼ全園児に貸出を行うことができた。また、年々満3歳児が増加傾向にあることから、2～3歳向けの図書も今後選書していく必要がある。

設備面では、図書役員の方による季節に応じた特集コーナーの設置が園児たちの目を引いていた。年度末には約460冊を図書館へ移管し、2010年度の貸出に対応している。

蔵書管理面において、2009年度も夏休み貸出に対応するべく、6月の年度貸出開始以前に蔵書点検を行った。

学院図書館の保護者利用も、幼稚園保護者だけで2009年度は53名の新規利用登録がなされている。今後も「としょかんつうしん」などの広報で利用案内を続けていきたい。

## ． 図書館利用アンケート結果

図書館サービスが利用者にどのように評価されているか、図書館に対する要望は何かを知るために、中学生・高校生・短大生を対象に 2004 年度より毎年行っている調査である。

調査項目は、読書量や図書館の利用目的、予約や購入希望の認知度、図書館への要望など多岐にわたる。

アンケート結果は今後の図書館活動を見直すための参考資料とする。

### 1．調査対象

	生徒数(人)	回答数(人)	回答率(%)
短大(初教)	204	172	84.3
短大(人環)	25	18	72.0
短大(看護)	49	43	87.8
高校	551	480	87.1
中学	323	273	84.5

### 2．1ヶ月の読書量(漫画・雑誌を除く)

	a.0冊	b.5冊まで	c.10冊まで	d.20冊まで	e.21冊以上	無記入
初教	57.0	36.6	3.5	1.2	0.6	1.2
人環	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
看護	55.8	41.9	2.3	0.0	0.0	0.0
高校	45.8	46.3	5.0	2.1	0.6	0.2
中学	41.0	48.7	7.0	1.5	1.8	0.0

(単位：%)

短大初等教育学科(以下「初教」)の学生の半数が「0冊」と回答しているが、実際は1冊以上の資料を借りている。利用する資料の多くが実習に役立つ実用書で本を読んでいるという実感がないからだと思われる。短大人間環境学科(以下「人環」)を除く全てで未読者は2008年度より増加している。

### 3．図書館利用率

#### 1) 公共図書館の利用

	a.毎日	b.1週間に3回以上	c.1週間に1~2回	d.月に2~3回	e.めったに行かない	f.全然行かない	無記入
初教	0.0	0.6	4.1	15.1	46.5	33.1	0.0
人環	0.0	0.0	0.0	5.6	22.2	72.2	0.0
看護	0.0	0.0	0.0	11.6	37.2	51.2	0.0
高校	0.4	1.0	2.1	6.7	36.9	52.3	0.6
中学	0.0	1.5	1.5	5.1	38.8	52.7	0.4

(単位：%)

初教の学生の約20%が月に2~3回以上公共図書館を利用している。本館の資料内容や開館時間では不十分なのか検討する必要がある。

## 2) 大阪信愛女学院図書館の利用

	a. 毎日	b. 1週間に3回以上	c. 1週間に1~2回	d. 月に2~3回	e. めったに行かない	f. 全然行かない	無記入
初教	0.0	2.9	11.0	33.7	45.9	5.8	0.0
人環	0.0	0.0	11.1	22.2	16.7	50.0	0.0
看護	0.0	0.0	0.0	11.6	20.9	67.4	0.0
高校	1.3	4.6	11.5	27.1	39.6	15.6	0.4
中学	2.2	7.7	9.5	25.6	40.3	13.9	0.7

(単位：%)

中学生については約54%の生徒が「めったに・全然行かない」と回答し、2008年度より13%増加している。高校生は昨年度とほぼ変化はない。

初教の学生の実習準備の利用は多いように思われる。

人環の学生は、2008年度とほぼ変化はない。

短大看護学科(以下「看護」)の学生は、「行かない」と回答した学生が88%とほとんど本館を利用していないことが分かる。

### 「めったに行かない」「全然行かない」理由

	初教	人環	看護	高校	中学
読みたい本がない	9.0	25.0	2.6	14.0	18.9
読みたい雑誌がない	1.1	0.0	2.6	2.6	9.5
聴きたいCDがない	4.5	8.3	5.3	5.3	12.8
観たいビデオやDVDがない	1.1	8.3	0.0	2.6	8.8
本の探し方がわからない	1.1	0.0	0.0	1.1	1.4
図書館の先生の対応が悪い	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4
図書館の雰囲気嫌	2.2	0.0	0.0	2.6	5.4
貸出や返却などの手続きが面倒	20.2	8.3	18.4	12.8	17.6
本が嫌い	10.1	0.0	7.9	6.0	12.8
なんとなく	32.6	33.3	23.7	42.6	39.2
クラブや稽古事、塾などで図書館へ行く時間がない	-	-	-	35.1	35.1
普段は図書館へ行かないが、定期試験時には利用することもある	47.2	0.0	2.6	14.0	12.8
メディアコーナーで十分	-	0.0	0.0	-	-
鶴見学舎から遠い	-	33.3	78.9	-	-
その他	6.7	0.0	2.6	2.6	9.5
無記入	0.0	0.0	0.0	0.4	0.7

(単位：%)

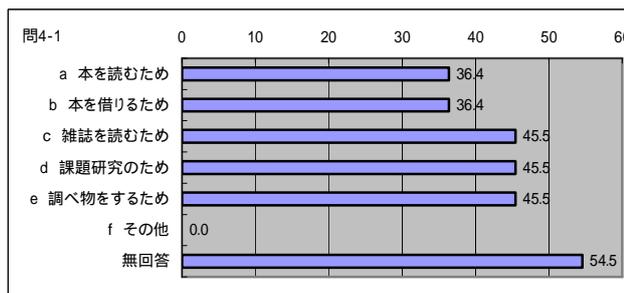
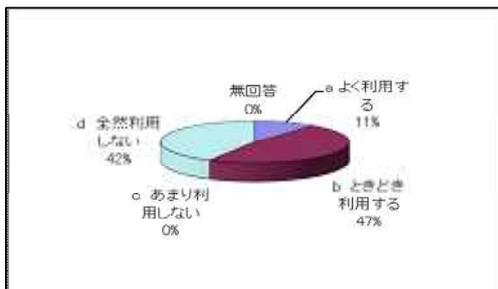
相変わらず「なんとなく」が各校とも多く、中高生はクラブや稽古事、塾などで図書館へ行く時間がないことをあげている。

「普段は図書館へ行かないが、定期試験時には利用することもある」の回答は、初教の学生が多い。定期試験というよりも実習と読み替える方が正しと思われる。

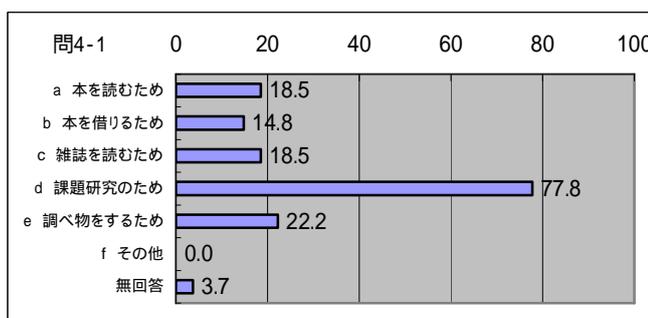
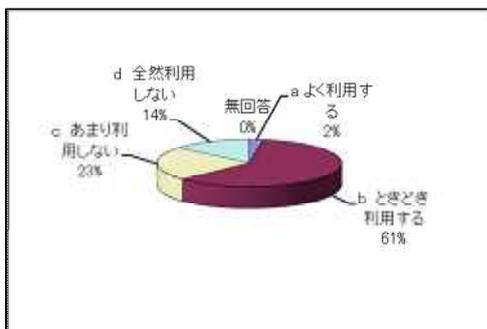
人環・看護の学生は、「鶴見学舎から遠い」ことをあげている。

### 3) メディアコーナーの利用 (人環・看護対象)

#### 人環



#### 看護



鶴見学舎にあるメディアコーナーの利用を尋ねた結果である。看護の学生は「課題研究のため」の回答が最も多くを占めている。

### 4. 利用目的 (大阪信愛女学院図書館を「月2～3回」以上利用すると回答した学生・生徒対象)

	初教	人環	看護	高校	中学
図書館の本を読むため	26.8	33.3	40.0	39.9	41.5
図書館の本を借りるため	59.8	50.0	0.0	69.0	65.9
CDを借りるため	14.6	0.0	0.0	36.2	35.8
ビデオ・DVDを観るため	11.0	0.0	0.0	19.7	38.2
新聞・雑誌を読むため	18.3	50.0	0.0	25.4	32.5
課題研究のため	59.8	16.7	80.0	-	-
勉強のため	-	-	-	39.4	22.8
個人的な調べ物をするため	25.6	-	-	20.7	8.1
宿題のため	-	33.3	40.0	12.7	8.9
友達との待ち合わせ	0.0	0.0	0.0	7.0	7.3
インターネットを利用するため	1.2	0.0	40.0	8.0	43.9
その他	1.2	0.0	0.0	2.3	0.8
無記入	1.2	16.7	3.7	1.4	0.0

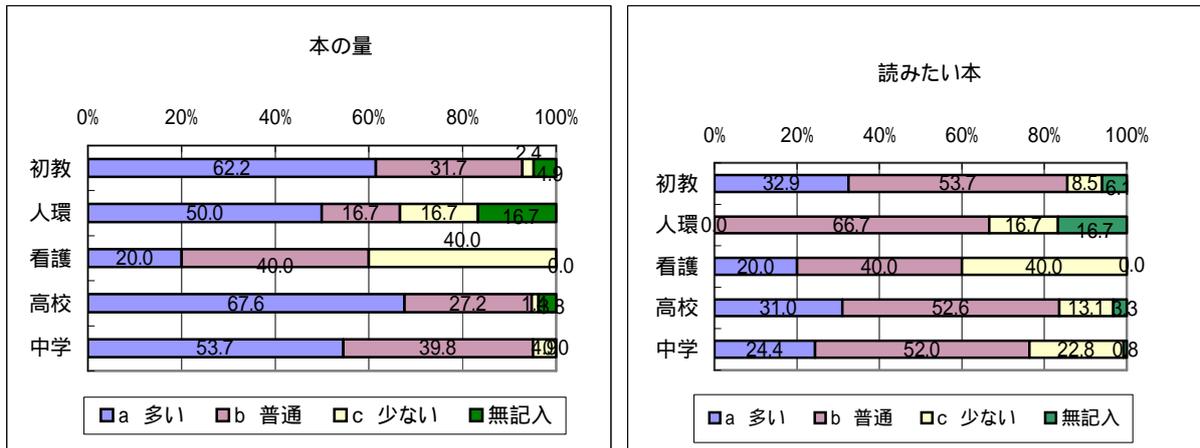
(単位: %)

看護を除く各校とも「図書館の本を借りるため」が最もなっている。初教・看護の学生では「課題研究のため」の回答が多いのは実習準備・課題提出で必要だからであろう。高校生では次いで「勉強のため」で、中学生では「インターネットを利用するため」だった。

インターネット利用統計からも分かるように、昼休み・放課後と毎日のように利用している中学生がいる。

## 5. 利用で感じていること

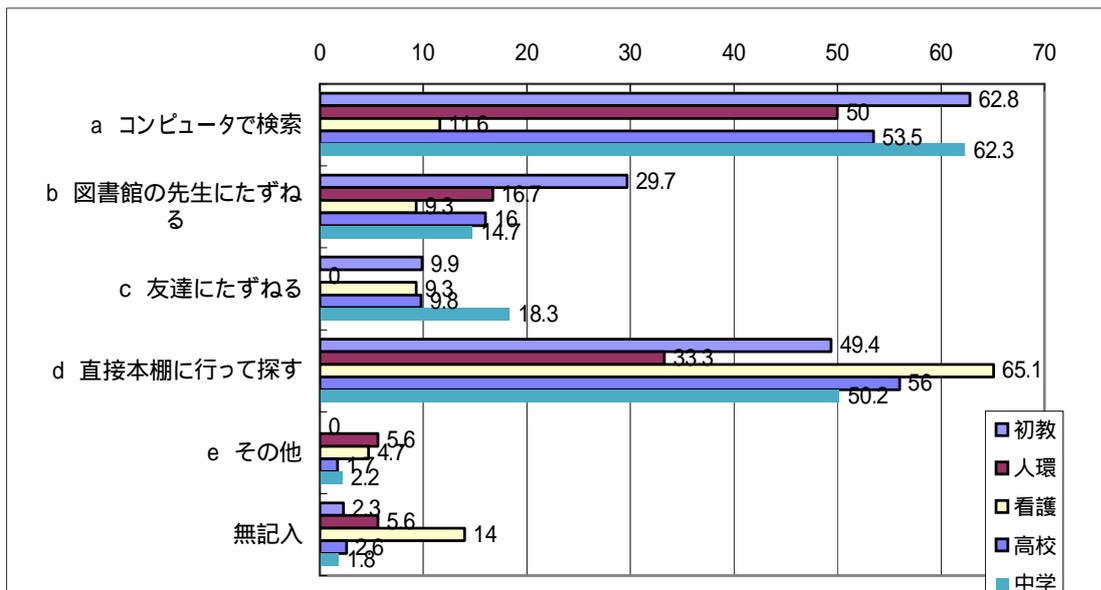
(大阪信愛女学院図書館を「月2～3回」以上利用すると回答した学生・生徒対象)



本の量は初教で62%、人環で50%、高校で67%、中学で53%が「多い」と回答しているが、読みたい本となるとその数は半減してしまう。それは中高生・短大生の読みたい本を本当に所蔵していないことも考えられるが、図書館にあっても貸出中だったり、十分に探さきれていなくて図書館にはないと判断してしまっていることがこの回答の要因と考えられる。予約制度、購入希望制度を利用するように呼びかけていきたい。

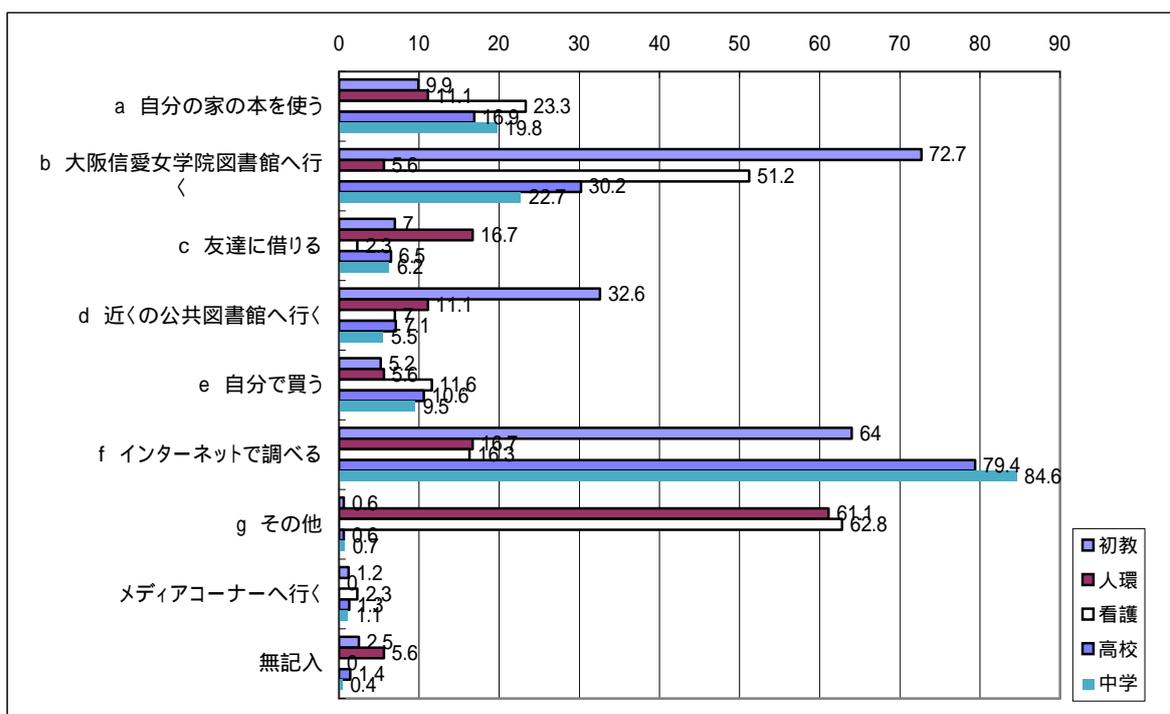
## 6. 資料の入手方法

### 1) 図書館で読みたい本を探すとき



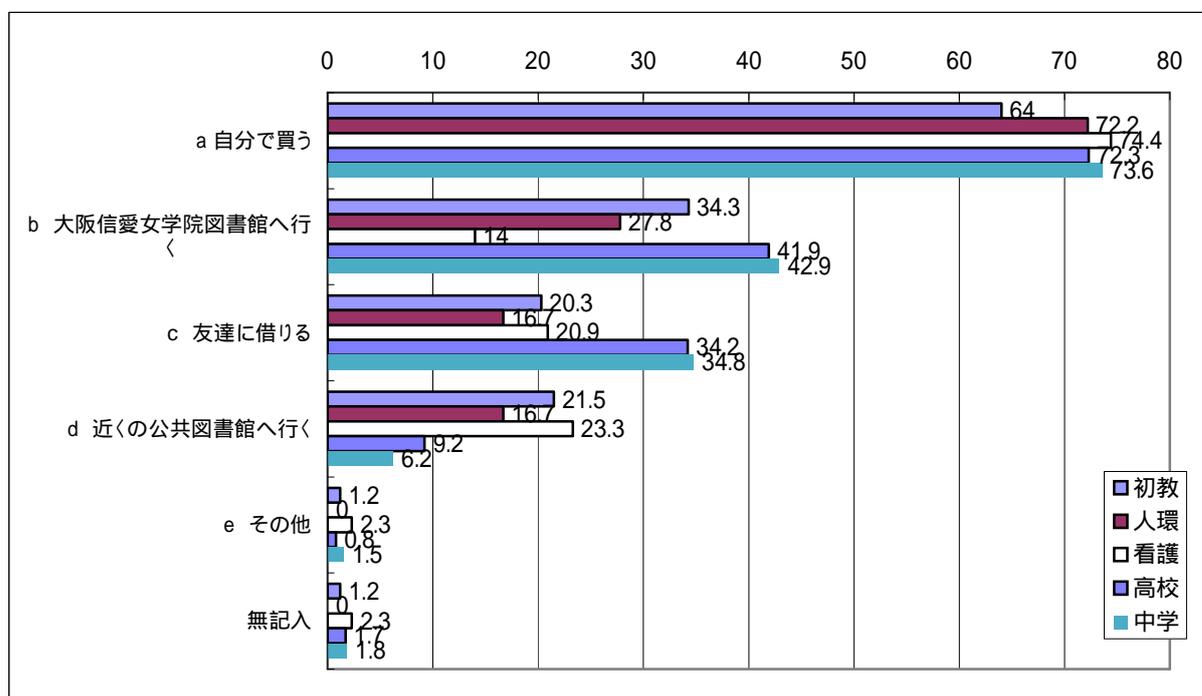
人環・中高生は「コンピュータで検索」が半数以上を占めている。看護の学生は目的がはっきりしているからか「直接本棚に行って探す」という回答が多くなっている。鶴見学舎には図書館員がいないので、「図書館の先生にたずねる」の回答が少ない。

## 2) 調べ物をしなければならないとき



調べ物をする場合は圧倒的に「インターネットで調べる」という回答結果で、毎年変わらない傾向にある。短大生の大阪信愛女学院図書館、公共図書館の利用傾向も昨年同様である。おそらく初教の学生にとって調べ物＝実習で、学院図書館には実習に必要な資料が充実しているためと考えられるが、その不足分または利用時間がないときには公共図書館を利用していると考えられる。

## 3) 読みたい本があったとき



短大生の「大阪信愛女学院図書館へ行く」という回答はほぼ変化はない。高校生は9%も減少している。また、中学生のみ7%も増加している。他の回答は2008年度とそれほど変化は無い。

## 7. 「予約」「購入希望」制度の認知

	a.知っている			b.知らない			無記入		
予約	初教	61.6	36.6	1.7	予約 の 利用	初教	20.8	77.4	1.9
	人環	38.9	50.0	11.1		人環	14.3	85.7	0.0
	看護	62.8	41.9	2.3		看護	11.1	46.5	0.0
	高校	90.6	7.9	1.5		高校	42.5	57.0	0.5
	中学	93.4	5.1	1.5		中学	49.4	50.2	0.4
購入 希望	初教	44.8	50.0	8.5	購入 希望 の 利用	初教	9.1	89.6	1.3
	人環	38.9	50.0	11.1		人環	28.6	71.4	0.0
	看護	53.5	46.5	0.0		看護	4.3	91.3	4.3
	高校	89.2	8.8	2.1		高校	31.8	66.4	1.9
	中学	88.6	9.2	2.2		中学	23.6	75.6	0.8

(いずれも単位：%)

「予約」「購入希望」ともに中高生の認知度は高く、どんな本やCDがあるのか毎月新着情報を図書館だよりに掲載し配布してきた結果だと思われる。短大生ではあまり認知されていない。利用の有無を尋ねたところ「それほど必要としていない」が最も多く、中には「制度としては知っているが具体的な利用の仕方がよくわからない」といった説明不足の指摘もあった。今後は利用されるように周知徹底していきたい。

## 8. 広報

広報に関して主に図書館で配布している新着図書案内「あたらしい本」、中高生対象に全員配布している図書館だより「らいぶらり」、図書館前掲示板、学生対象に短大校舎掲示板をそれぞれの程度見ているかを尋ねた。

### 1) 新着案内「あたらしい本」

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	2.9	51.2	45.3	0.6
人環	5.6	33.3	61.1	0.0
看護	0.0	14.0	83.7	2.3
高校	9.8	73.0	16.0	1.5
中学	9.9	66.7	22.0	1.5

(単位は%)

新着案内は図書館玄関や鶴見学舎のカウンター周りに置いてあり、自由に持ち帰ることができる。ただし、鶴見学舎での認知度が非常に低い状態になっている。

2) 図書館だより「らい ぶらり」

	a. すみずみ読む	b. 一通り目を通す	c. ほとんど読まない	無記入
高校	10.0	55.0	34.0	1.5
中学	13.9	59.3	24.9	1.8

(単位は%)

図書館からのお知らせや新着案内、利用の様子など気になったことを掲載しているが、高校生の「ほとんど読まない」割合が増加している。

3) 図書館前掲示板

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	1.2	47.1	50.6	0.6
人環	0.0	44.4	55.6	0.0
看護	0.0	9.3	88.4	2.3
高校	8.3	55	35	2.3
中学	11.4	62.3	25.3	1.1

(単位は%)

図書館前の掲示板は新着資料の案内や各種お知らせ、ポスターなどを掲示している。

4) 短大校舎掲示板(短大生対象)

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	11.6	55.2	32.6	0.6
人環	5.6	44.4	50.0	0.0
看護	14.0	27.9	55.8	2.3

(単位は%)

掲示板の中の図書館についての回答をしている学生と掲示板全体のつもりで回答している学生がいると思われる。もし掲示板全体として回答しているのであれば、問題である。

5) ホームページ

	a. よく見ている	b. たまに見る	c. 見たことがない	無記入
初教	1.7	35.5	61.6	1.2
人環	0.0	38.9	61.1	0.0
看護	0.0	32.6	65.1	5.6
高校	1.7	34	61	2.9
中学	2.2	42.5	53.8	1.5

(単位は%)

この設問は 2008 年度始めて設けた設問である。全体として見ている割合は約 45%あり微増している。

9. よく読む雑誌（上位5誌）

	短大	高校	中学
1	Jelly	ViVi	ポポロ
2	non-no	non-no	Potato
3	Brenda	Jelly	Seventeen
4	Duet	Popteen	ニコラ
5	Soup	Zipper	Duet

ほとんどがファッション・芸能に関する雑誌であった。

10. 好きな作家（上位5人）

	短大	高校	中学
1	東野圭吾	東野圭吾	東野圭吾
2	乙一 伊坂幸太郎 あさのあつこ 宮部みゆき	山田悠介	山田悠介
3	恩田陸 石田衣良	あさのあつこ	重松清
4	-	乙一	あさのあつこ
5	-	村上春樹	乙一

短大生の回答が非常に少なく、複数回答があったものだけをあげた。

11. 最近読んで面白かった作品（上位5作品）

	短大	高校	中学
1	トワイライト 流星の絆 容疑者Xの献身	ハリーポッター	この涙が枯れるまで こんぺいとう
2	-	心霊探偵八雲 夜は短し歩けよ乙女	京大芸人 恋空 白いジャージ ハリーポッター リアル鬼ごっこ
3	-	1Q84 夢をかなえるゾウ	ベイビーメール Aコース Fコース
4	-	16歳の教科書 デモナータ 彩雲国物語 重力ピエロ	-
5	-	Tugumi お釈迦様もみてる	-

短大生の回答が非常に少なく、複数回答があったものだけをあげた。

高校生は古い作品から新しい作品と幅広く読まれている感がある。

中学生は圧倒的にケータイ小説が多い。

## 12. 図書館への意見や要望

自由記述のため記入あまり多くないが、例年と同じく「CD・DVDを多く入れてほしい」や「CDのジャンルを増やして」などの要望が多かった。また、その他の要望として「館内がうるさい」「オタクチックなものが多すぎる」「図書館の先生がこわい」などがあった。

その一方で、「本がたくさんあってよい」「利用しやすい」「便利な図書館」「とても充実している」など良い評価も多くあった。

アンケート調査結果は毎年大差なく、予想通りの結果と言える。今年で6回目になるが、全学生・生徒の動向、意見や要望を取り入れる唯一の機会でもあり、この結果を踏まえ図書館活動を見直す材料にしたい。

オリエンテーションで必ず1回は図書館に来ているが、その後なかなか足が向かない生徒が多いようである。しかし、その後來館した生徒の中には、「こんなものもあるのか」と驚いているのをよく目にする。

「古雑誌・図書配布」「雑誌付録プレゼント」「らいぶらり」配布など、あらゆる機会を設けてできるだけ多くの生徒が来館できるように活動していきたい。